

I. 事業計画上の重点目標

1. 建学の精神に基づく特色ある教育の推進

ア. 建学の精神

本学の建学の精神は、「楽学」である。これは論語の第一章、学而編「学びて時に之を習う、亦説ばしからずや、朋有り遠方より来る、亦樂しからずや。」からの引用である。その謂れは、「学んだことを常に繰り返して行くと、やがて自分のものとなり、自由に働きを表すようになる。」ということである。この建学の精神「楽学」を踏まえて、次のことを教育理念としている。

- ◎ 徳性の陶冶を重んじ、人間性を練り鍛える、豊かな人間形成を図る。
- ◎ 地域に生きて働く人材を養成する。

イ. ミッション

この教育理念をもとに、学則第2条において、本学の目的および使命を次のように定めている。「本学は、教育基本法並びに学校教育法に基づくとともに伝統ある高水学園の精神に則って、国家社会の有為な形成者にふさわしい一般教養と、専門的職業に重点を置く高度な知性とを修得させ、国家の福祉と人類文化の創造発展に貢献することのできる心身ともに健全な人物を育成することを目的とする。」

上で述べている、徳性の陶冶、一般教養や専門的知識の修得、国家・地域に貢献できる人材の養成などの使命を踏まえて、幼児教育科の教育目標を分かりやすい表現で、次のように学生便覧に掲載し、学生に伝えている。

「健康、人間関係、環境、言葉、表現の領域において、学生自身が、それぞれ正しい基礎能力を養うとともに、現代の幼児教育理論の成果を踏まえた専門的技術を身に付ける。併せて、広い教養教育を通じ、正しい人生観、広い社会性を持ち、幼児教育に携わることに誇りを持った人物を養成する。」

2. 長期ビジョン：本学に対する社会的評価の確立

社会背景として、高等教育の多様な変化や、18歳人口の減少が続く少子化社会のもとで、本学がその使命を果たし、特色を発揮するには何が必要か。ひとつには、小規模で、幼児教育科のみの単科であること、二つには、山口県東部唯一の高等教育機関であること、この特性を生かすことである。

その上に立って、第一に、単科であるからこそできる、徹底した専門技術と同時に広い教養を持ち、「徳性の陶冶」をわかりやすく表現した「気働き」で、他者への思いやりや社会人としての責任と使命を自覚した人材を養成する。第二に、地域に信頼され、地域に貢献する人材を育成する。それは単なる地域への協力ではなく、実際に地域社会に役に立つ力の育成である。第三に、高等教育機関として、地域文化の啓発的活動の中心的役割を担うこと、第四に、小規模大学にしかできない学生達との信頼関係の構築と、その上に立つきめ細かな教育指導を充実する。この四つを本当に実現できる学園を目指すこと、そこに本学の将来がかかっている。

3. 教職員の資質の向上とモラルの高揚

教職員の倫理観の高揚と職場の士気高揚を目指すために、FD研修会（年3回）とSD研修会（毎月1回）を実施している。また、4月の学期始めには非常勤講師を対象に合同研修会を開催し、本学の教育方針を非常勤講師も含め全教職員で共有している。

4. 入学定員確保と就職率達成

ア. 入学定員確保について

毎年の入学者の数値目標を90名とする。

高校からの新卒入学者75名を数値目標とする。

社会人の積極的受け入れを行い、15名を目標数値とする。

山口県東部にある唯一の短大である強みを生かし、山口県東部はもとより広島県西部の募集を強化する。

様々な先進的取り組みを通して社会的評価を上げ、本学の魅力をPRする。

校舎は老朽化しているが、定期的な補修に努める。

イ. 就職率達成について

進路支援については学内の組織改革により、平成23年度に就職部の機能を強化してキャリア支援センターを設置し、4年が経過している。センター長に事務局から学生支援課長、次長に教員を充てることで教職員の連携を強化し、また、入試広報センター等其他の部署との連絡・調整を円滑にして支援体制の強化を図っている。キャリア支援センターでは、本学独自のキャリア支援プログラムを実施している。プログラムの内容としては、入学するまでに学んでおいて欲しい内容や、接続教育の一環としてピアノ（音楽実技）や制作活動などを入学式前にスタートさせている。

1年次前期には、「基礎ゼミナール」の授業において、本学で作成している「就職の手引き」を基に、キャリア支援センターの利用方法や設置してある多くの資料の活用法、また就職試験対策について説明し、その中で、2年後の自分がイメージできるような内容にしている。

後期には山口県若者就職支援センターからキャリアカウンセラーを招き、進路ガイダンスにおいて、専門的な就業力についての講演を行っている。その他、大学祭の期間中にも職業適性診断ブースなどの設置をしている。キャリアカウンセラーには、年に2回派遣の依頼をしており、2年生にも卒業前の1月に、新人の心構えや人間関係づくりなどの内容でガイダンスを実施している。

2年次では、オリエンテーション初日に第一回目の進路ガイダンスを行い、卒業するまでの進路ガイダンスの実施時期と個別指導の支援体制について説明している。また、5月、10月、1月の年3回進路希望調査を実施し、調査結果は、各担任が回収後内容を確認してからキャリア支援センターへ提出することで、教員と連携しながら学生一人ひとりの活動状況を把握している。この調査を基にセンター職員が行う個別進路相談内容は、すべて進路希望相談記録票に記載しており、学生の活動や各時期における学生の希望・適性にあった求人の特徴につながり、ミスマッチなどを防ぐ対策にもなっている。年間にキャリア支援センターを利用する学生の就職相談件数は、延べ300件以上である。

次に、幼稚園・保育所への就職試験に対する指導としては、山口県私立幼稚園協会、岩国幼稚園協会等、地域ごとで協会に加入している園が統一して実施する適性試験が採用のための一次試験となっているため、毎年受験した学生に対し、試験項目と内容、受験の感想、さらに後輩たちへのアドバイス等を記入した統一適性試験結果報告書を受験後に提出させている。キャリア支援センターではそれらを取りまとめ、問題の傾向と対策を分析し、次年度の「就職試験対策講座」に生かしている。「就職試験対策講座」は、教員に教養・専門分野の解説、実技指導を依頼して、授業時間外に実施している。平成27年度は17回行った。

公務員試験対策講座を、平成26年度から実施した。1年次の春休みに教員に教養分野の解説を依頼し実施。平成27年度には、2年生には公務員試験対策講座の学習会及び模試を実施し公務員志望の学生への支援を行った。1年生には、夏休みを利用して教員に解説を依頼し学習会を実施した。

また、就職試験面接への対策として、キャリア支援センター教職員を中心に面接練習チェック表に基づき模擬面接を実施している。

平成26年度の就職状況は以下のとおりである。

卒業 者 数	就職 希望者	左のうち、就職決定者							就職 率	進学
		幼稚園	保育園	施設	託児 所	企業	計			
50 [7]	46 [5]	13 [0]	18 [2]	9 [2]	0 [0]	6 [1]	46 [5]	100. 0%	0 [0]	
「企業業種」：医療・福祉（29）、教育・学習支援業（14）、運輸業（1）、 公務員（1） 「企業職種」：事務（2）、サービス（8）、専門的・技術的（30）、運輸（1） 「進学」：四大・専門学校（1）										

5. 中期的財政計画の実施

昭和46年の開学以来、幼児教育科を設置し、保育士資格・幼稚園教諭二種免許状の両方が取得できる短期大学として、多くの卒業生を輩出してきた。また、平成24年度にキャリアデザイン学科を募集停止し、幼児教育科単科の短期大学となった。

本学は、幼児教育者としての高い専門的な知識と技能をもつだけでなく、社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成を目的として、以下の点を教育の特色とする。

- ア. 建学の精神「楽学」に基づき、幼児教育者としての優れた専門知識や技能に加え、特性の陶冶及び地域に生きて働く人材の養成をめざす。
- イ. 保育士資格・幼稚園教諭二種免許状が同時に取得できる教育課程を編成し、子ども子育て新システムに対応できる、二つの資格・免許を持った人材の養成を目指す。
- ウ. 岩国市唯一の高等教育機関として、地域の求める人材の養成はもちろんのこと、地域の子育て支援の中心となるネットワークを構築し、様々な組織と連携しながら子育て支援に関わる取り組みを展開している。
- エ. 長い間の就職開拓の成果や就業力アップのための様々な取り組みに加えて幼稚園

教諭、保育士不足の社会情勢も手伝って、毎年就職率 100%を堅持している。

オ. 本学幼児教育科は定員 80 名であり、1 学年 4 クラス編成としている。このため 1 クラスは 20 名前後であり、クラス担任制をとっている。講義系科目では合同授業となるが、多くの演習系、実技系科目では少人数で開講されている。また、音楽実技等の個人指導が必要な科目では数名に対し教員 1 名と、少人数教育で効果が上がるようにしている。

カ. 入学してくる学生のほとんどが、幼稚園教諭・保育士を目指しており、早い時期から幼稚園児を招いての「お店屋さんごっこ」、清流祭での「キッズルーム」、岩国子育て支援ネットワーク開催の「Iwatan 親子フェスタ」等、幼児との触れ合いを通して、保育者となる自覚と意識を高める取り組みをしている。課外活動では、保育研究クラブが近隣の幼稚園や保育所に出向き活動をしている。

カ. 入試合格者を対象に行われる入学前教育（入学前プログラム）、新入生合宿研修、入学後の卒業必修科目「基礎ゼミナール」「キャリア開発Ⅰ～Ⅲ」を開設し、就業力向上の取り組みをしている。また、早期離職防止のために、毎年 6 月に新卒者を招いて「フォローアップセミナー」を開催し、多くの卒業生が参加している。

キ. 実習を中心にすえた教育課程の編成、身体を通じて心を表現する「クリエイティブ・ムーブメントⅠ・Ⅱ」の授業、行事やクリーンプロジェクト等の参加を促す「特別活動」の授業を通じて、人と人とのかかわりやボランティア精神の涵養をめざす。

ク. 社会人の積極的な受け入れのために、学費減免措置を行い、山口県東部高等産業技術学校から訓練生の受け入れを行っている。社会人の入学によって落ち着いた雰囲気醸成され、社会人としてのマナーや考え方が学びやすい。

ケ. 建学の精神「楽学」、教育理念の一つである「地域に生きて働く人材の養成」の実践として、地域貢献の活動に力を入れている。その一つがボランティア活動の推奨であり、多くの学生が実践している。特に 46 時間以上の活動を行った学生を学位記授与式にて表彰している。

また、本学が中心となって構築している「岩国子育て支援ネットワーク」において、「親子広場」、「保育者対象研修会」、「Iwatan 親子フェスタ」などのイベントを開催、その他親学講演会等においても地域貢献の活動に力を注いでいる。

6. 退学者等を減らす学生指導及び教育相談の充実

退学者を減らすために、少人数教育の充実を図り、学習・生活両面にわたってきめ細かな学生指導を行う。本学の少人数の特性を生かし、学習、生活、そして、就職等にわたってのきめ細かい学生指導を行った。平成 25 年度から、全学年クラス顧問制をとり、原則持ち上がりとして、2 年間同じクラス顧問による学生指導を行った。学習状況、欠席状況等については科会等を通して学生の情報交換を密にして、一人一人の学生への配慮を欠かさないようにした結果、退学者の減少につながった。

7. 地域貢献の推進

平成 23 年度に、岩国幼稚園協会、岩国市保育協会、独立行政法人国立病院機構岩国医療センター、岩国市保健センターと連携し、「岩国子育て支援ネットワーク（Iwatan 子

育て愛ねっとアカデミー)」を設立し、保育・食育・健康の領域を中心とした学生参加の子育て支援事業を展開し5年目を迎えた。その間、保育者対象研修会、親子のための公開講座、Iwatan 親子フェスタを主な行事として一定の成果を挙げてきている。特に、Iwatan 親子フェスタは、5年目の記念として岩国市との共催により、岩国市総合体育館を会場に、2月上旬に開催した。岩国市や和木町の母子保健推進協議会や近隣の高等学校の協力もあり、約1,200名の親子の参加を得ることができ大盛況であった。

生涯学習公開講座は、平成2年度より年間2回開催している。1回の開催に3～5講座開催している。また、本学の学長が会長を務める岩国親学推進協議会による「親学講演会」年間1回本学を会場として開催し、本学学生も講演会に参加している。

また、平成26年度から岩国市長を客員教授に迎え、「基礎ゼミナール」「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の授業の一環として、1・2年生合同で前後期に1回ずつ特別講義を実施している。岩国市は現在大規模な再開発を進めており、市長が「子育て日本一の街」をスローガンに掲げていることも合わせて、岩国市への学生の関心が高まっている。

本学では、地域貢献の一環として、平成24年度より、本学創立者宮川澳男先生の「徳性の陶冶」の精神を発揚し、学生ボランティアの推奨を主な目途として宮川澳男賞、地域貢献奨励賞を創設した。本年度も宮川澳男賞2名、地域貢献奨励賞14名表彰を行った。ボランティア活動も定着しつつある。

II. 事業内容

1. 入学式

平成 27 年 4 月 2 日 (木)

2. 新入生歓迎行事

平成 27 年 4 月 18 日 (土) ~ 20 日 (日) 十種ヶ峰青少年自然の家にて実施

3. 学位記授与式

平成 28 年 3 月 19 日 (土) ※宮川澳男賞 (2 名表彰)

4. オープンキャンパス

第 1 回 6 月 20 日 (土) 10:00~14:00

第 2 回 7 月 12 日 (日) 10:00~14:00

第 3 回 8 月 8 日 (土) 10:00~14:00

第 4 回 8 月 9 日 (日) 10:00~14:00

第 5 回 9 月 19 日 (土) 10:00~14:00

第 6 回 11 月 15 日 (日) 清流祭と同時開催

第 7 回 平成 28 年 3 月 20 日 (日) 10:00~14:00

5. 進学説明会 67 回参加 (業者主催の進学説明会に参加)

6. 高水学園高大連携推進会議 平成 27 年 12 月 22 日 (火) 実施

7. 入学試験

指定校推薦入試 (2 回)、推薦入試 (3 回)、試験入試 (3 回)、社会人入試 (1 回)、
AO 入試 (4 回)、特別入試 (1 回)

8. 入学前プログラム

平成 27 年 11 月 28 日 (土) ~ 平成 28 年 3 月 5 日 (土) 計 7 回実施

9. 教員研修会「FD」(3 回)、ハラスメント講習会

FD 研修会

第 1 回 平成 28 年 2 月 23 日 (火) 講師: 岩国市こども支援課長
「岩国市における子育て支援施策について」

第 2 回 平成 28 年 3 月 9 日 (水) 講師: 寺嶋 隆
「広報についてのワークショップ」

ハラスメント研修会 平成 28 年 2 月 22 日 (月)

講師: 宇部フロンティア大学学長 相原次男 先生

10. 教育懇談会・保護者懇談会

1 年次、2 年次とも年 3 回実施

11. 事業の運営

教授会 (定例 12 回・臨時 15 回、)

運営協議会 (毎月 1 回)

科会 (毎月 1 回)

部会 (毎月 1 回)

各種委員会 (毎月 1 回)

12. 地域貢献推進事業

生涯学習公開講座（7講座）

親学講演会（1回）

保育者対象研修会（2回）※岩国子育て支援ネットワーク事業

親子のための公開講座（6回）

第5回記念 Iwatan 親子フェスタ

13. その他の事業

岩国市長による特別講義 平成27年6月5日（金）

岩国市教育長による特別講演 平成27年11月20日（金）

幼稚園教諭免許更新講習 平成27年8月16日（日）・8月23日（日）

フォローアップセミナー 平成27年6月7日（日）

文部科学省私立大学等経営強化集中事業の補助金獲得

消防等防火訓練 平成27年12月11日（金）

Ⅲ 施設・設備の整備

1. 事務局教務システム更新

平成27年度事業として、事務局の教務システムを更新した。